

Kumenan Press



久米南町立久米南中学校 校長室便り

No.33 2019.12.10

共生の心を育むために

本年度も、誕生寺支援学校誕生寺校地で開催された『みんなの作品展』に、本校生徒の美術作品を出展しました。支援学校の児童生徒の創意あふれる作品と並んで、同じく交流校である誕生寺小学校、そして本校の作品が同じように展示されているこの作品展には、「作品交流」という言葉では言い尽くせないほど大きな意味が込められています。

12月10日：世界人権デーによせて

1981（昭和 56）年から続いている誕生寺支援学校との交流学习のうち、運動会や遠足、プール学習などの行事は時代の流れとともに精選され、現在まで続いているのは「交流会」と「作品交流」の二つのみです。しかし、学習の場は少なくなっても「障害の有無に関係なく全ての子どもたちの人権が尊重され、共に幸せに生きることができる社会の実現を目指す」という強い願いは、交流開始当初からずっと絶えることなく引き継がれています。

様々な個性もつ人々が、同じ社会の中で「共に学び、共に生きる」ことの意味を、実感として学ぶことができるこの交流は、両校の生徒にとって大変貴重な学習の場であり、本校にとっては人権学習の核となる取組です。

本日、12月10日は世界人権デー。1948（昭和 23）年のこの日に「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」で始まる「世界人権宣言」が国連総会で採択されたことに由来する日です。宣言どおりの社会をつくるためには、一人ひとりが人権感覚を磨き、人権意識に基づいて行動することが大切です。学校における人権学習が実生活に結び付いた本物の学びとなり、共生の心をもって主体的に社会をつくろうとする生徒を育むため、これからも取組の充実を図ります。

11/30～31開催



誕生寺支援学校「みんなの作品展」より